

令和5年度 第1回宇和島市水道事業経営審議会

開催日時	令和5年10月17日（火）13：30～
開催方法	対面による会場開催
定足数	定数10名中9名出席 ※ 過半数の出席により成立
議 題	① 第7次整備事業について ② 第8次整備事業計画の概要について

議事（説明事項）の概要

議題 ① 第7次整備事業について

▷ 平成21年～令和4年度の実績

① 施設・整備	37億8,300万円	水源・浄水施設の更新、耐震化など
② 管路	54億3,800万円	79.5 km更新

▷ 令和5年度の施工状況（見込）

① 施設・整備	8億500万円	宮下浄水場 送水ポンプ更新 など
② 管路	9億7,400万円	4.5km 更新
③ 離島管路	15億5,700万円	海底送水管の布設 5.0km、陸地部 3.1km 更新

▷ 主な質疑応答

令和4年度末の管路耐震化率は、4年度の完成工事全体で15.29%、基幹管路としては18.78%となっていることを説明しました。今後も、基幹管路を中心とした耐震管への更新工事を行い、耐震化率を向上させる予定であることを説明しました。

第7次整備事業の実施状況を説明しました。計画した工事はおおよそ完了（着手済）、管路は880kmあるうち、第7次整備事業計画で更新できなかったものについては、第8次整備事業で引き続き更新予定であることを説明しました。

議題 ② 第 8 次整備事業計画の概要について

▷ 第 8 次整備事業計画の主な事業概要 (R6～R15)

① 中央監視設備整備(津島・宇和海地区) (R6～R10)	17 億 4,000 万円	津島水道企業団との事業統合に合わせ、支所・津島水道企業団の施設監視・制御を柿原浄水場に一元化するもの。
② 上光満 - 迫目連絡管設備 (R10～R15)	5 億 2,000 万円	上光地区と迫目地区を連絡管で繋ぐことにより、柿原浄水場から三間成家地区の一部に送水することで、水質・水量の安定を図るもの。
③ 市立宇和島病院連絡管整備 (R13～R15)	1 億 9,500 万円	市立宇和島病院 - 宮下浄水場間の管路を耐震化するとともに、宮下浄水場から市立宇和島病院へ送水できる機能を追加するもの。

▷ 主な質疑応答

給水人口減少の影響を受け、給水収益が減少傾向にあること、令和 9 年度頃には赤字となる見込みであることを説明しました。現金(内部留保資金)残高等を考慮しながら、料金改定の必要性について経営審議会へ諮ることを説明しました。

宇和島市の水道料金は県内で 3 番目の高さであり、料金改定実施は厳しいものの、先延ばしによる急激な改定とならないよう、細かくシミュレートを行うことを説明しました。

津島地区の中央監視設備が更新期を迎えていること、一体的に更新することで経費削減や運転管理員の省略化が期待できることを説明しました。

市立宇和島病院 - 宮下浄水場間の既設配水管が更新期を迎えていることから、耐震管路へ更新するとともに、宮下浄水場から市立宇和島病院へ送水する機能を追加することを説明しました。